

たふい

No. **212**

2024. 5

議会だより



令和6年第1回定例会(3月)

審議・議決内容

予算審査

常任委員会、特別委員会

一般質問

議決結果

2

4

6

9

14





垂井町議会議長
若山 隆史

令和6年「年初第1回」の町議会開会に寄せて

平素より、町議会に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

まずは、令和6年 能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、多くの犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

さて、3月定例会は、令和6年度に向けた当初予算の審議・提案など、大変重要な定例会であり、本定例会から始まる令和6年の垂井町議会につきましても、引き続き慎重審議と闊達な議論を展開し、民意に添った町政の方向付けを適切に議決してまいりますので、よろしくお願い致します。



令和5年度垂井町一般会計補正予算 歳入歳出予算の総額 115億1,170万6千円

本定例会では、令和5年度一般会計補正予算が会期中に2件上程・審議されました。歳出予算の主な内容は、以下のとおりです。



●定額減税対応システム改修業務委託料 323万9千円を増額

住民税の定額減税※を実施するにあたり、システム改修に要する費用を追加しました。

※税制改正により納税者及び配偶者を含めた扶養親族一人につき、令和6年度分の所得税で3万円、個人住民税で1万円の減税を行うこととされました。



●生活支援給付金給付事業 9,142万4千円を増額

住民税均等割のみ課税されている世帯に対して1世帯10万円、また住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税されている世帯に対し、対象児童一人あたり5万円を給付する事業に要する費用を追加しました。



●新型コロナウイルスワクチン接種事業 3,706万2千円の減額

令和5年度末をもって新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種事業が終了することから、事業に要する経費を減額しました。



●除雪業務委託料 3,600万円の増額

積雪による除雪作業の実施にあたり、除雪業務委託に要する費用を追加しました。

第1回 定例会

3月定例会は、3月5日から22日までの会期18日間で開かれ、令和6年度垂井町一般会計、特別会計及び企業会計予算、条例改正、補正予算、名誉町民の顕彰など、町長提出議案32件、議会議案2件を審議・議決しました。



名誉町民の顕彰について 藤墳守氏に**名誉町民の 称号を贈呈**

長年にわたり垂井町並びに不破郡の発展に多大な貢献をされた藤墳守氏の名誉町民の顕彰について審議し、全会一致で同意しました。

藤墳氏は、垂井町行政職員として35年、また岐阜県議会議員として28年の長きにわたり、大変責任あるお立場や重要な役割を務めてこられました。その豊富なご経験と卓越した識見をもって、産業振興や地域の安全安心など、多方面にわたり多大なご尽力をいただきました。

同日、名誉町民顕彰式が垂井ホールにて挙行され、早野町長から名誉町民章が贈呈されました。



垂井町介護保険条例の一部改正について 第1号被保険者の 介護保険料を見直し

第9期垂井町介護保険事業計画の策定に伴い、第1号被保険者に係る介護保険料が改定されることから、議会において当該条例の一部改正について審議し、可決しました。

介護保険事業計画は3年ごとに定めることとされており、令和6年度から令和8年度までの3か年の第1号被保険者の保険料の「基準月額」は、第8期計画(令和3年度から令和5年度まで)と同額の6,150円に据え置かれました。一方、国基準の所得段階が13段階へ多段階化され、高所得者の保険割合の引き上げや低所得者の保険割合の引き下げを受け、国基準に合わせるため、本町で定める所得段階を12段階から13段階へ、また各段階ごとの保険料額の見直しをそれぞれ行いました。



旧東保育園ビジネス拠点改修工事請負 契約の締結について サテライトオフィス等を 整備

町外事業者等を誘致するためのサテライトオフィスを整備するとともに、創業における拠点やテレワークのためのコワーキングスペースを提供し、特に若年者に対し活躍の場を提供するため、旧保育園施設を改修した施設整備が計画されています。施設整備に向けた改修工事の事業者を選定する入札が行われ、予定価格が一定金額を超えることから、議会において当該工事契約の締結について審議し、可決しました。

- 契約相手方 株式会社タワダ
- 契約金額 1億8,348万円
- 工事完了期限 令和6年9月30日



指定管理者の指定について 町社会福祉協議会を 指定管理者に指定

町デイサービスセンター及び町福祉事業所けやきの家は、現在、社会福祉法人垂井町社会福祉協議会が指定管理者として管理しており、令和6年3月31日で5年間の指定期間が満了します。

次期の同施設の指定管理者として、引き続き当該協議会を指定することについて、議会において審議し、可決しました。

- 指定管理者 社会福祉法人垂井町社会福祉協議会
- 指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日

3月定例会の審議議案と議員の賛否については、14～15ページをご覧ください。

令和6年度予算 総員起立により可決

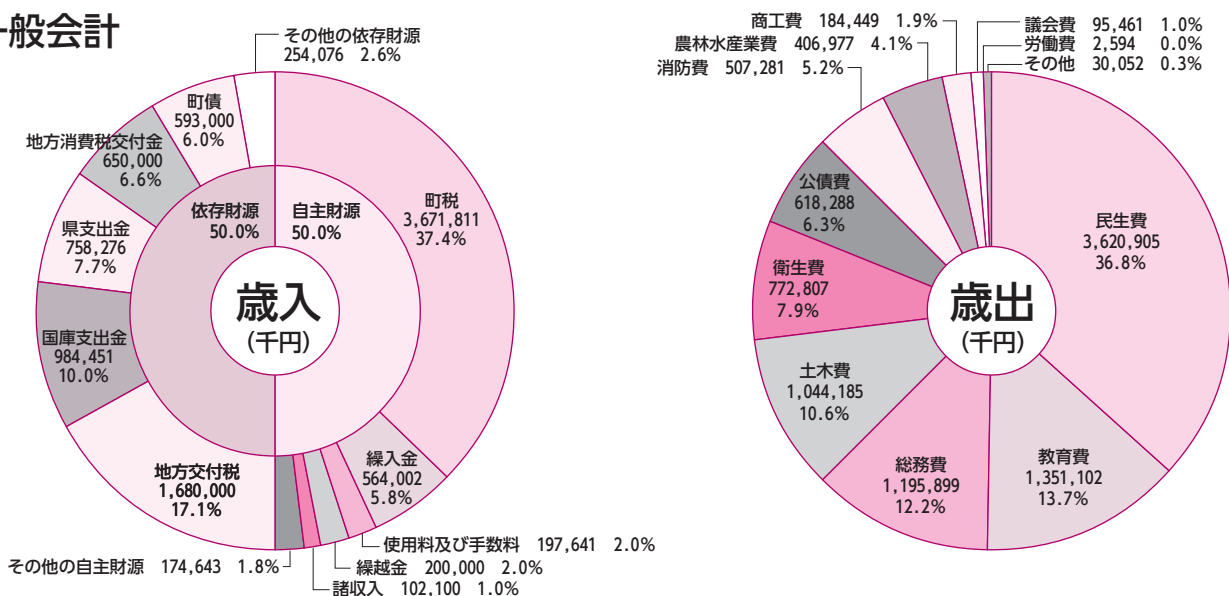
総額183億4,968万円
(前年度比2.8%減)

令和6年度の一般会計、特別会計及び企業会計予算の8議案については、水野忠宗委員長ほか11名の委員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、審査を付託しました。特別委員会では、3月11日～13日の3日間にわたり審査を行い、いずれも可決すべきものと決定しました。その後、本会議で委員長報告を行い、起立採決の結果、総員起立により委員長報告のとおり可決しました。

会計区分	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度比
○一般会計	98億3,000万円	107億7,000万円	△8.7%
○特別会計 合計	59億5,138万円	71億6,127万円	△16.9%
国民健康保険	26億9,000万円	27億6,000万円	△2.5%
公共下水道事業	0円	11億7,200万円	皆減
農業集落排水事業	0円	3,640万円	皆減
不破郡介護認定審査会	1,230万円	1,180万円	4.2%
介護保険	27億7,000万円	27億5,000万円	0.7%
不破郡障害者総合支援認定審査会	108万円	107万円	0.9%
後期高齢者医療	4億7,800万円	4億3,000万円	11.2%
○水道事業	7億9,200万円	9億4,200万円	△15.9%
○下水道事業	17億7,630万円	0円	皆増
総合計	183億4,968万円	188億7,327万円	△2.8%

令和6年度より「公共下水道事業」及び「農業集落排水事業」特別会計が廃止・統合され、「下水道事業会計」が新設されました。

一般会計



令和6年度予算の詳細は、広報たるい4月号をご覧ください。

予算審査特別委員会 付帯意見

令和6年度は、町合併70周年を迎える節目となる年であり、関連する事業の着実な実施に加えて、垂井町第6次総合計画(後期5年計画)の重点戦略に位置づけている「若い世代や子育て世代に選ばれるまち」や「すべての人にとって便利で快適なまち」を実現するため、少子化対策やDXの推進などにも積極的に取り組む必要がある。今後、人口減少による税収減が想定される中、多様なニーズに対するきめ細やかな行政サービスを展開し、将来にわたって持続可能な行政運営が維持されるよう、引き続き、歳入歳出両面で財政基盤強化に向けた取組を進められたい。

予算審査特別委員会



委員長 水野 忠宗

予算審査特別委員会では、令和6年度一般会計予算、各特別会計予算及び企業会計予算について、担当所管課から令和6年度の主要事業内容などの説明を聴取し、審査を行いました。



子育て世帯訪問サポート事業※

- Q. 利用料や利用時間は。
- A. 利用料は、所得段階等により3段階を予定している。利用時間は1回2時間以内を1日2回までとし、年間30回以内を予定している。

※妊婦中や出産後の体調不良などにより家事等を行うことが困難な世帯等を対象にサポーターを派遣し、子育て世帯の家事支援等を行う。

空き地活用事業

- Q. 空き地バンクに登録していただくための取組は。
- A. 雑草や樹木の剪定依頼があった際の除去依頼通知と併せて、空き地バンクについても周知したいと考えている。

クリーンセンター整備方針検討事業

- Q. 整備方針の検討とは、具体的にどのようなことを行うのか。
- A. 現在のクリーンセンターやごみ処理等の実態について分析し、今後のクリーンセンターの整備方針を検討したいと考えている。

半兵衛グリーンロード(林道明神線愛称)

- Q. 半兵衛グリーンロードの開通式はいつ予定しているのか。
- A. 積雪の影響により工事完了が5月末頃になる予定であり、開通式については、工事完了後、調整したい。

ICT教育環境の充実

- Q. 小中学校にデジタル教科書を追加導入しているが、町独自の施策か。
- A. 英語、数学・算数については、国から支給されており、町独自分として小学校に3学年2教科分、中学校に全学年2教科分のデジタル教科書を追加導入している。

結婚新生活支援事業※

- Q. 具体的な支援内容は。
- A. 29歳以下の夫婦に対して上限60万円、39歳以下の夫婦に対して上限30万円を補助している。夫婦の所得が500万円以下といった要件もある。

※結婚して町内で新生活を始める夫婦を対象に、住宅の取得費や家賃、引越費用等を補助する。

その他の質疑

○庁舎東館改修工事基礎調査の内容	○公共施設予約システムの内容
○固定資産税の評価替え時期	○けやきの家改修工事の内容
○子ども食堂の実施団体	○今後の除雪用ホイールローダーの活用方法
○町水道事業基本計画策定の目的	○公有地化した美濃国府跡の管理方法 など

総務産業建設委員会



委員長 中村 ひとみ



総務産業建設委員会では、総務課、企画調整課、税務課、建設課、都市計画課、産業課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

簡易水道施設(北部・栗原)の統合

- Q. 簡易水道施設(北部・栗原)を上水道に統合する具体的な時期は。
- A. 統合するには相川左岸高区配水池の新設や送・配水管等の整備が必要であり、令和6年度に策定する水道事業基本計画策定業務の中で検討していく。

県道養老垂井線の拡幅

- Q. 庁舎周辺の土地利用として、県道養老垂井線の拡幅や右折車線の設置などについて、県に要望されているか。
- A. 流交差点の改良及び文化会館西交差点から尾登交差点までの4車線化要望を毎年行っている。

朝倉運動公園の再整備

- Q. 今後の朝倉運動公園再整備に向けての計画は。
- A. 本年度行ったサウンディング型市場調査※の結果をもとに、来年度、基本構想の策定を予定している。その中で今後の方向性について、検討・協議していきたいと考えている。

※民間事業者から広く意見・提案を求め「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。

消防団組織の見直し

- Q. 消防団の組織体制を見直すため、様々な検討が必要ではないか。
- A. 消防団員の条例定数と加入数に大きな乖離がある。機能別消防団員の導入など消防団のあり方を検討する場を設ける。

旧府中幼稚園改修工事

- Q. 府中地区まちづくりセンターの移転に向けた旧府中幼稚園改修工事は、いつ完了予定か。
- A. 現在、設計業務の段階であるため完成期日は決まっていないが、早急に取り組んでいく。

垂井駅の無人化

- Q. 垂井駅が無人化になったが、管理体制に問題ないか。
- A. 今後、リアルタイムの状況が分からないことが懸念されるため、来年度、駅周辺施設の防犯カメラの増設や設備強化を予定している。

その他の協議・報告事項

○名誉町民の顕彰	○能登半島地震に係る人的支援状況
○垂井町合併70周年記念ロゴマーク	○個人住民税(所得割)の定額減税の実施
○平尾地区ほ場整備事業	○公共下水道事業ストックマネジメント計画
○町営住宅の現状と課題	○府中清水地区土地区画整理事業 など

文教厚生委員会



委員長 藤埴 理

文教厚生委員会では、健康福祉課、子育て推進課、住民課及び教育委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。



プログラミング教育

- Q. プログラミング教材[Root]※を使用した授業は年間何時間か。
- A. 小学4～6年生が授業で使用しており、4、5年生が年間5時間、6年生は6時間行っている。

※30種類以上の機能とセンサー、マグネット式ホワイトボード走行機能などが搭載されたプログラミングロボットで、ユニークな学習体験を通じた論理的思考力の向上が期待されている。

登下校の安全パトロール

- Q. 子どもの登下校時における安全パトロールの「なり手」が少なくなっているが、対策はあるか。
- A. 学校、警察、行政が連携して「ながら見守り」を行っている。関係団体にも再度周知し、引き続き子どもたちの安全を見守るよう努める。

垂井レイザーボックス※との連携協定

- Q. 連携協定の内容は。
- A. 垂井レイザーボックスには、スポーツ振興や地域活性化のほか、町内外に向けて垂井町の発信をお願いする。町としては、町民に広く宣伝し、公共施設の利用面などで協力する。

※垂井町に誕生した、3人制バスケットボールのプロチーム

第三次子どもの読書活動推進計画

- Q. 昨今、ICTの普及により本離れが進んでいるが、この計画を生かして町民の方に広めていくための具体的な取組は。
- A. ホームページや図書館イベント、クチコミなどにより、計画を広めていきたいと考えている。

こども家庭センターの設置

- Q. 設置場所はどこか。
- A. 子育て推進課で児童福祉関係を担当し、保健センターで母子保健関係を担当する。2課にまたがる形で設置され、連携のため来年度予算にシステム関係経費を計上している。

介護保険第1号被保険者保険料

- Q. 垂井町の保険料が高い要因は。
- A. 民間事業所に恵まれ、介護サービスを利用しやすい環境である。そのため、介護給付費に反映されやすく、保険料が高い要因のひとつと考える。

その他の協議・報告事項

○新型コロナワクチン接種	○「育休退園」の廃止
○第3期 垂井町子ども・子育て支援事業計画	○マイナンバーカード申請・交付状況
○戸籍証明等の広域交付	○文化財資料整理事業
○朝倉運動公園施設使用料(卓球使用料)の誤徴収に伴う返還状況 など	

議会改革特別委員会



委員長 富田 栄次



議会改革特別委員会は、垂井町議会の充実強化や運営面等について、その意義や役割を踏まえ、あるべき姿を調査研究するため、令和5年12月定例会にて設置されました。

これまでの経過経緯

第1回	令和5年12月15日	正副委員長を互選し、委員会の目的や進め方等について協議、確認しました。
第2回	令和6年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> 委員会での検討課題の洗い出しが行われ、各議員から提案された検討課題を分類し、「政策提言と政策立案の強化」「開かれた議会運営の実現」を中短期的に、「議員のなり手不足」「議会基本条例」等を長期的に協議していくことを確認しました。 常任委員会における所管事項の見直しについて協議した結果、上下水道課を文教厚生委員会の所管に異動する方針を決定しました。
第3回	令和6年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> 常任委員会における所管事項の見直しについて、執行部と協議し、方針のとおり町議会委員会条例を見直す方向性について報告されました。 「政策提言と政策立案の強化」を議題として、常任委員会における協議のあり方や執行部への政策提案等の向上方法、議員間討議等について協議しました。
第4回	令和6年3月21日	垂井町議会委員会条例の一部改正について、令和6年第1回定例会に上程する旨、確認しました。

提案された検討課題

【政策提言と政策立案の強化】

- ・常任委員会における協議について
- ・執行部への政策提案等の向上について
- ・議員間討議について

【開かれた議会運営の実現】

- ・議会報告会・意見交換会の開催について
- ・住民意見の公聴について

【議員のなり手不足】

- ・議員のなり手不足について
- ・議員定数について
- ・議員報酬について

【議会基本条例】

- ・議会基本条例について

【機能強化】

- ・タブレットの導入について
- ・通年議会の導入について

垂井町議会委員会条例の一部改正について



常任委員会の所管事項を一部見直し

常任委員会の充実を図るため、特別委員会において、常任委員会における所管事項の見直しについて協議し、見直し方針が決定されました。

これを受けて、令和6年第1回定例会において、議会議案として当該見直しに係る条例改正議案を上程し、可決しました。

●改正内容

総務産業建設委員会の所管事項である「上下水道課の所管に属する事項」を文教厚生委員会の所管事項とするもの。

●施行期日

令和6年4月1日



▲運用方針は
こちらから

一般質問の様子をより多くの人に見ていただけるよう、動画配信サイト「YouTube」で配信しています。議員名の下のQRコードを読み取ると、動画を見ることができます。

一般質問とは、議員が町長ほか執行部に対して、町政全般にわたり質問・要望を述べることをいい、各定例会において行われます。3月定例会では、9人の議員が登壇し町政課題への提言や質問を行いました。紙面の都合上、質問と答弁を要約した内容を掲載しています。



町の考えを問う

議員名	内 容
鈴木 準二	① 会計年度任用職員の時給について ② 町まちづくりセンターに対する認識と配置について
渡辺 保彦	① 垂井町DX推進計画について ② 垂井町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例について
乾 豊	① 役場職員の消防団への入団について ② 帯状疱疹ワクチン接種の助成について
江上 裕子	○ 垂井町の充実した子育て支援のマーケティング戦略について
中村ひとみ	① AEDの使用促進について ② 学校施設の老朽化対策・防災機能強化の促進について ③ 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進
小宅 宏	① 能登半島地震を踏まえ、体育館に空調設置を！ ② 申請しやすい就学援助制度を！
藤埴 理	○ スマートシティ・コンパクトシティについて
水野 忠宗	① 垂井町史について ② 少子化対策としての同窓会の開催支援について
富田 栄次	○ デジタル教科書と従来の紙の教科書とのあり方について



鈴木 準二議員



YouTubeは
こちらから

問 会計年度任用職員の時給について

答 人事院勧告に準じて
人件費の適切な見直しに努める

問 愛知県みよし市では、会計年度任用職員一般事務職の時給を9.5%引き上げるが、本町はどのように捉えているか。

町長 一般事務補助として任用された初年度の時間報酬額は、令和5年度と比較して約7.5%の引上げを予定している。人事院勧告に準じて会計年度任用職員の報酬を決め、適正な見直しに努めている。

問 どのような方法で会計年度任用職員の初任給を是正されるのか。

総務課長 正規職員と同じように人事院勧告で示された給与表に基づき決めており、不均衡が生じることのないように努め

問 町まちづくりセンターに対する認識と配置について

答 誰もが気軽に立ち寄り相談できる体制と移転先について検討する

るとともに、近隣自治体の状況や財政的な視点も加えて決定している。

問 町まちづくりセンターに対する認識と配置の考え方は。

企画調整課長 各地域の課題や分野別の課題などに対して、住民や団体のみなさんが主体的に取り組むためには、町まちづくりセンターが相談と助言、情報収集と提供、人材育成などの役割を担っていくことが大変重要であると考えている。町まちづくりセンターが担う役割をしっかりと認識し、誰もが気軽に立ち寄り相談できる体制と移転先について検討を進めていく。

問 今後の町まちづくりセンターの設置場所は。

ワイワイプラザ垂井に持っていくべきでは。

企画調整課長 今しばらく現在の垂井地区まちづくりセンター内を事務所とし、各施設の今後の方向性を踏まえながら、検討していく。また、ワイワイプラザ垂井へは、設置する予定が当時からなかったため、厳しいと考える。

問 垂井町DX推進計画について

答 今年度策定を進めており、ホームページ等で公開する

問 情報システムの標準化・共通化の導入時期や計画は。また、予算化や予算計画は。

総務課長 令和5年9月議会定例会の補正予算で、戸籍情報システムの標準化移行業務に関する経費を認めていただいている。令和6年度からその他の業務についても進め、令和7年度末までに全ての対象業務の標準化・共通

化に関する対応を完了し、運用を目指していきたいと考えている。

問 情報システムの標準化・共通化を進める中、10期徴収は引き続き導入されるのか。

総務課長 最終的な機能、

問 垂井町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例について

答 住民の利便性の向上、行政運営の簡素化、効率化を図る

問 条例化の時期は。運用開始は。

企画調整課長 2月15日から3月14日までの間、パブリックコメントを実施した。今後、条例内容を確定し、早ければ6月議会で議案を提出したいと考えている。

問 どのような業務のオンライン化を予定、想定しているか。

仕様や業務プロセス評価を行った上で、問題・課題点を整理し判断することが重要であると認識しており、現段階では未確定である。住民と行政にとって最も適切な納税環境となるよう進めていく。

企画調整課長 令和6年度には公共施設予約管理システムの導入を予定しており、令和7年1月の運用開始を予定している。今後、各課等で所管する条例や規則に基づく手続等についてオンライン化の検討を進め、順次拡大していく。



渡辺 保彦議員



YouTubeは
こちらから



▲キャッシュレス決済



乾 豊 議員



YouTubeは
こちらから

問 職員に入団を呼びかけては。また、多様な人材確保の考えは。
企画調整課長 垂井町行 財政改革大綱第6次実施計画で消防団組織の見直しを取組項目に掲げており、令和6年度には、その検討体制を構築し、消防団のあり方の検討を進めていきたいと考えている。その中で、役場職員

や女性、消防職員OB、消防団OB、学生など多様な人材確保について、各団員の得意分野を生かせる機能別消防団員の創設についても検討していきたい。

問 役場職員の消防団への入団について

答 消防団のあり方の検討を進め、地域防災力の充実強化を図る

問 带状疱疹ワクチン接種の助成について

答 国の専門委員会の動向に注視しながら引き続き検討する



問 ワクチン接種の有効性は。また、予防効果と副作用は。
健康福祉課長 発症率を低減させ、重症化を予防できることから、ワクチン接種は有効性があり、一定の効果があると認識している。副反応については、接種後に注射部位の痛みや腫れのほか、アナフィラキシーが起こる場合もあるとされている。

問 ワクチン接種費用の助成の考えは。
健康福祉課長 带状疱疹ワクチンは任意接種に位置づけられている。任意接種に位置づけられた予防接種は複数あり、その中のどの予防接種を助成対象とするのか難しい問題であり、国の専門委員会の動向に注視しながら引き続き検討していく。



問 垂井町の充実した子育て支援のマーケティング戦略について

答 選ばれる町、選ばれ続ける町になる仕組みづくりに努める



江上 裕子 議員



YouTubeは
こちらから

問 子育て支援が全ての世代にとって有効な施策であることを、ビジョンを示し、丁寧に説明する必要があると考えるが。

町長 人口減少を抑制するためには、子育て支援施策の推進という重点戦略に取り組むことが垂井町の目指す将来像につながることを理解していただく必要がある。あらゆる視点から全ての世代に向けての 프로모ーションに取り組み、より一層子育て支援を推進していきたいと考えている。

町長 これまで小・中学校を主体にした事業については、施設使用料等を免除するなど、手厚い取扱いをしている。

町長 町内の公立、私立のこども園に通う保護者に関わらず、中学生や二十歳を祝う会のメンバーなどと毎年意見交換をするようにしている。あらゆる機会に関われる会合があれば、少しでも顔を出してお話しできる場を設けていきたい。

問 町の知名度を上げ、充実した子育て支援を町内外に知ってもらうために、マーケティング戦略



▲二十歳と町長が語る会



中村ひとみ議員



YouTubeは
こちらから

問 AEDの使用促進について

答 心理的抵抗感を軽減できるような対策を検討する

問 町施設の屋外設置状況は、24時間使用可能なAEDの設置状況は。

消防主任 各小・中学校や各地区まちづくりセンターなど35施設に37台を設置しており、そのうち、屋外、または24時間使用可能なAEDは、13施設に14台を設置している。

問 女性に配慮し、操作する人がためらわずに使用できる工夫をすべきでは。

消防主任 女性等に配慮した使用方法があることを広く周知し、性別等に



問 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進

答 県の活用事例を参考にし、調査研究する

関係なく使用できるよう、さらに使用に対する心理的抵抗感を軽減できるような対策を検討し、早急に整えたいと考えている。



▲音声コード使用例
出典：内閣府ホームページ

問 町から送付される公的な通知については、音声コードの普及を早急に進めるべきでは。

健康福祉課長 伝えたい内容ごとに音声コードを作成し、そのコードをそれぞれの文書に印字する作業が必要であることや、音声コードには細かいルールがあり、職員では簡単に取り扱うことができず、委託が必要であるため、現時点では個人宛ての文書に音声コードを印字することは難しい。しかし、視覚障がい者への情報伝達手段として有益であると考え、まず県の活用事例を参考にしながら調査研究をしていく。

その他の質問

● 学校施設の老朽化対策・防災機能強化の促進について

問 能登半島地震を踏まえ、体育館に空調設置を！

答 学校施設に係る全体の整備計画の課題のひとつとして捉える



小宅 宏議員

問 国の財政支援には、文部科学省の「学校施設環境改善交付金」や総務省の「緊急防災・減災事業債」があり、令和7年度までの時限措置となる。このような制度を活用して、児童・生徒の熱中症対策や避難所の環境改善のため、早急に整備を進めるべきでは。

企画調整課長 避難生活が長期となる場合の環境改善対策が重要であり、熱中症対策として、国の制度を有効に活用したスポットクーラーなどの空調設備の設置に努め、避難所の充実強化を図る。

問 申請しやすい就学援助制度を！

答 保護者が不安を持たれないよう、検証しながら進めていく

問 就学援助を申請する際に、民生委員の所見と印鑑が必要であるが、削除してはどうか。

問 民生委員の所見と印鑑が必要な理由は。

など維持管理費が増大するなどの課題があるため、引き続き学校施設全体の整備計画の中で課題のひとつとして捉えていく。また、企画調整課と情報共有し、連携しながら検証を行うとともに、事業効果や必要となる費用の算定を行うなど、調査研究に取り組んでいく。



YouTubeは
こちらから

問 民生委員の所見と印鑑が必要な理由は。

教育次長 民生委員の方にお尋ねしたところ、情報を得ることによって見守りができるといった意見をいただいた。現行の制度を維持していく考えだが、申請者から心配の声が聞かれる場合は、方向性を再度検証しながら進めていく。



藤 埴 理 議員



YouTubeは
こちらから

問 D Xを推進した先にあるスマートシティをどのように捉え、どのような方向性を持って進めていくのか。

答 企画調整課長 分野横断的に様々なデータを取得・活用することによる総合的なサービスの向上や、産官学、町民が関わ

問 スマートシティ・コンパクトシティについて

答 人口減少に適應した持続可能なまちづくりに取り組む



ることによる新たな枠組みによる課題解決が期待できるとされており、垂井町DX推進計画に掲げる施策を着実に推進することが、スマートシティの取組につながるものと考えている。

問 都市計画の観点からコンパクトシティをどのように捉え、現状に即して進めるべきか。

答 都市計画課長 本町は、庁舎や垂井駅を中心に市街地が形成されているとともに、7つの地域が交通ネットワークにより結びかれており、現在、国が推し進めるネットワーク型コンパクトシティをより一層推進したいと考えている。持続的な都市の

形成を目指し、都市計画マスタープランの高度化版である立地適正化計画の策定を検討し、商業や公共施設などの都市機能を集約するなど、都市再生による好循環を実現していく。

問 町長の描く垂井町の未来は何か。

町長 第6次総合計画等で掲げる「ひととまちが輝く地域共創都市」さらなるやさしさと活気を求めて」が本町の未来像である。スマートシティやコンパクトシティの取組は、様々な分野の政策と一体となって初めて目指すべき将来像が実現されることを考える。今後とも人口減少を最小限に抑えるための分野別の横断的な施策を着実に推進するとともに、人口減少に適應した持続可能なまちづくりに取り組む。



問 住民主体で開催される同窓会を支援するための補助金を考えては。

答 企画調整課長 参加者の半分である4組のカップルが誕生し、大きな成果があったと考えている。令和6年度も、商工会と共催して事業を実施する予定である。

問 垂井町史について

答 在庫状況や新たな発見・成果を踏まえ検討していく

問 現在の在庫数とその取扱いは。今後の対応をどのように考えているか。

問 少子化対策としての同窓会の開催支援について

問 出会いや結婚のきっかけづくりの施策として検討する

答 企画調整課長 出会いや結婚のきっかけづくりの施策として今後検討していく。

問 改訂版等の検討はあるか。どのように後世に引き継いでいくか。

答 生涯学習課長 新たな発見も加え、一定の成果がまとまった段階で町史の刊行を検討していく。歴史文化等継承事業や学芸員による歴史講座などで後世へと引き継いでいくよう取り組んでいる。また、小・中学校との連携を図り、タルイピアセンターの史料や実物に触れるなどの体験を通して、垂井町の歴史や文化のすばらしさを伝えていく。



水野 忠宗 議員



YouTubeは
こちらから



富田 栄次議員



YouTubeはこちらから

問 デジタル教科書と従来の紙の教科書とのあり方について

答 ICT環境を活用し、令和の日本型学校教育の推進に取り組む

問 日本型学校教育の良さは？

教育長 町内の各学校で行っている児童・生徒の日常の教育活動、教員の努力そのものが日本型学校教育の良さだと捉えている。

問 令和の日本型学校教育とは何か？

教育長 日本型学校教育の良さ、強みを自覚し、継続・発展させることが前提であり、その上にGIGAスクール構想で整備されたICT環境を活用し、子ども一人ひとりに応じる個別最適な学びと子ども同士の関わり、さらに地域をはじめ様々な人との関わりの中で学ぶ協働的な学びを目指して

いくことだと考えている。

問 授業の改善例は？

教育長 例えば、英語のデジタル教科書では、英語の読みを確認したいときには、本文中の必要な箇所を指定すれば、音声で確かめることができる。また、読み上げる速度を調節する機能があり、ゆっくり聞きたい場合にはゆっくり聞ける。また、繰り返し聞くこともできる。また、繰り返し聞くこともできる。また、繰り返し聞くこともできる。

文を読む練習のときに一人ひとりが自分に合った速さで確認をすることができる。そのほか、マスク機能という、重要な語句や単語の一部を隠す機能もあるため、自分の学習に役立てたり、指定し

た範囲の日本語訳を確認したりすることができ、など、先生の手助けを待つのではなく、生徒は、自分の課題を持って一人で学習を進めることができる。

問 現在までに分かっている課題と成果は？

教育長 課題は、デジタル教科書、タブレットを使って学習し続けるときの目の健康への配慮が必要であること。また、どの機能を使うと子どもたちの学習により有効に使えるかなど教師側の研究が必要になってくること。成果は、ノートに書く活動ばかりではなく、タブレットを使って書きまとめる活動があることにより、両方の活動がより意欲的に取り組まれるようになったことと、子どもが自分の学習の方法を選択できるようになり、一人ひとりに応じる学習ができるようになったことが挙げられる。また、今求められている思考力、判断力、表現力などの能力を育てていくためには、極めて有効であると捉えている。

3月定例会

審議議案と議員の賛否

上程議案・概要	賛成：○ 反対：×	結果	江上裕子	中川泰一	水野忠宗	渡辺保彦	小宅宏	鈴木準二	山田成利	広瀬隆博	乾豊	若山隆史	藤墳理	中村ひとみ	富田栄次
<p>※「-」は議長のため採決に加わらない</p>															
条例															
垂井町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、規定の整備を行うため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町報酬、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部改正について	教育支援委員会の名称が定着したことから当該委員会委員の名称を改めるため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給するため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	施設の重要事項について、書面での掲示に加え、インターネットを利用して閲覧に供することを義務付けるほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町介護保険条例の一部改正について	第9期計画（令和6年度から令和8年度まで）の第1号被保険者に係る介護保険料の改定を行うため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	管理者が兼務することができる事業所等の範囲を明確にするとともに、身体的拘束等の適正化のための措置を義務付けるほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

3月定例会 議決結果

上程議案・概要	賛成：○ 反対：×	結果	江上裕子	中川泰一	水野忠宗	渡辺保彦	小宅宏	鈴木準二	山田成利	広瀬隆博	乾豊	若山隆史	藤埴理	中村ひとみ	富田栄次
条例															
垂井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	管理者が兼務することができる事業所等の範囲を明確にするとともに、身体的拘束等の適正化のための措置を義務付けるほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	指定居宅介護支援事業所ごとに置かなければならない介護支援専門員の人員に関する基準を見直すほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正について	指定居宅介護支援事業者が指定介護予防支援の指定を受ける場合の人員に関する基準を定めるほか、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町土地改良事業等補助金交付条例の一部改正について	近年の資材価格及び燃料代の高騰による工事費の上昇を考慮し、当該補助事業における補助率の見直しを行うため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	補償基礎額を引き上げるため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
垂井町水道事業給水条例の一部改正について	水道整備・管理行政について所管省が変更されるため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
予算															
令和5年度垂井町一般会計補正予算（第7号）	8,569万7千円を減額し、予算総額を115億1,170万6千円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町一般会計補正予算（第8号）	表佐80号線路側改良事業を繰越明許とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	76万8千円を追加し、予算総額を27億7,322万3千円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	2,883万3千円を減額し、予算総額を11億4,427万円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	189万2千円を追加し、予算総額を3,829万2千円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町介護保険特別会計補正予算（第2号）	1,496万円を追加し、予算総額を28億949万円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
令和5年度垂井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	900万円を追加し、予算総額を4億4,285万5千円とするもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
その他															
指定管理者の指定について	垂井町デイサービスセンターの管理を行わせる指定管理者について、指定するもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
指定管理者の指定について	垂井町福祉事業所けやきの家の管理を行わせる指定管理者について、指定するもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
旧東保育園ビジネス拠点改修工事請負契約の締結について	契約相手方：株式会社タワダ 契約金額：1億8,348万円	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	中西千年氏を推薦するもの。	全員賛成で同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
名誉町民の顕彰について	藤埴守氏を顕彰するもの。	全員賛成で同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議会議案															
垂井町議会委員会条例の一部改正について	総務産業建設委員会の所管事項である「上下水道課の所管に属する事項」を文教厚生委員会の所管事項とするため、所要の改正を行うもの。	全員賛成で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
常任委員会の閉会中の継続調査の件	各常任委員会の所管事項について、閉会中の継続調査とするもの。	全員賛成で決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
選挙管理委員及び同補充員の選挙	地方自治法第182条第1項及び第2項の規定に基づき、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行うもの。	全員賛成で決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

不破郡町村議会議長会視察研修会



2月20日、不破郡町村議会議長会視察研修会を開催し、岐阜県庁や議会棟を視察しました。垂井と関ヶ原の両町の議員は、県職員から施設のポイントである県産材のヒノキや美濃和紙、タイルを使用した内装や外壁などについて説明を受けました。

ワイワイプラザ垂井落成記念式



3月27日、ワイワイプラザ垂井落成記念式典が開催されました。

垂井町初の複合施設であり、今後、多くのみなさんが気軽に利用することができ、新たな賑わい創出の拠点として広く活用されることが期待されます。

編集後記

12月定例会において設置された議会改革特別委員会の活動が本格的にスタートしました。

議会だよりについても、少しでも分かりやすく、親しみやすいものを目指して、編集に力を入れていきたいと思っております。ご意見等がありましたら、お知らせください。 広報研究会一同

6月定例会の予定

- 6月5日(水) 議案の提案説明など
- 12日(水) 一般質問
- 14日(金) 議案の審議・議決

議会・議長 活動日誌

2月	
15日(木)	議会改革特別委員会
18日(日)	町音楽祭～合唱・邦楽の部～(議長)
20日(火)	不破郡町村議会議長会視察研修会
23日(金・祝)	藤墳守氏旭日小綬章受章祝賀会
26日(月)	第3回西南濃町村議会議長会(議長)
	第2回不破郡町村議会議長会(議長)
27日(火)	議会運営委員会
3月	
2日(土)	生き生きライフ推進大会(議長) (兼 各学級・講座合同閉講式)
5日(火)	第1回定例会第1日
	全員協議会
6日(水)	総務産業建設委員会
7日(木)	町立中学校卒業証書授与式
8日(金)	文教厚生委員会
	議会改革特別委員会
11日(月)	予算審査特別委員会
12日(火)	予算審査特別委員会
13日(水)	予算審査特別委員会
17日(日)	町少年少女合唱団定期演奏会(議長)
19日(火)	第1回定例会第2日
21日(木)	全員協議会
	予算審査特別委員会
	議会改革特別委員会
22日(金)	第1回定例会第3日
	藤墳守氏垂井町名誉町民顕彰式
25日(月)	町立小学校卒業証書授与式
26日(火)	県町村議会議長会 第4回評議員会(議長)
	町立こども園卒園式
	退職並びに町外転出教職員送別会(議長)
27日(水)	ワイワイプラザ垂井落成記念式典
4月	
1日(月)	転入及び新規採用教職員歓迎会(議長)
5日(金)	町交通安全対策協議会(議長)
7日(日)	町消防入退団式
13日(土)	令和6年度自治会長会議(議長)

